

平成31年度（2019年度） 県立中学校・高等学校における教育指導の重点

高校教育課
学校安全・安心推進課

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して

人間尊重の精神をすべての教育の根幹におき、校長を中心とした指導体制のもと、生徒一人一人の教育的ニーズや学校評価等による課題の把握に努め、学校間及び学校と家庭・地域社会との連携を図るとともに、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行い、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として必要な「生きる力」の育成を目指す。

○ 確かな学力の育成と個に応じた指導の充実

「主体的・対話的で深い学び」と一人一人の特性等に応じた適切な指導を通して基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を努める。また、社会の変化に対応し、適切に行動できるよう、学びに向かう力、人間性等を涵養する。その際、発達の段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら生徒の学習習慣の確立に努める。さらに、教育上特別な支援を必要とする生徒に対しては、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行う。

○ キャリア教育の推進と個性を生かす進路指導の充実

義務教育段階における指導を踏まえた上で、将来の社会的・職業的自立に必要な望ましい勤労観、職業観等を育成するため、現在の学習と実社会とのつながりを意識し、目的を持って学ぶキャリア教育を推進する。また、系統的な進路指導により、自己の特性等を知り、将来に対する目的意識を持って、自己実現を図る態度を育てる。

○ 道徳教育の充実と命を大切に作る心の育成

人間としての在り方生き方に関する教育を、学校の教育活動全体を通じて行うことにより、道徳教育の充実を図る。その際、各教科に属する科目、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて適切な指導を行う。また、情報モラル教育の推進や、よりよい言語環境づくりに努める。さらに、家庭や地域社会と連携・協働し、いじめや不登校問題等に適切に対応するとともに、心に響く多様な指導を通して命を大切に作る心や他者を思いやる心、規範意識等の豊かな心の育成を図る。

○ 国家・社会の形成者としての資質の育成と国際社会に生きる日本人としての自覚の醸成

平和で民主的な国家・社会の形成者としての資質や能力を育み、良識ある公民として必要な政治的教養を豊かにするための教育の充実を図る。また、社会に主体的に参画するために必要な情報活用能力の育成にも努める。さらに、グローバル化する国際社会の中で、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができるよう、外国語によるコミュニケーション能力や異文化を理解する力を育成するとともに、我が国と郷土の歴史や文化・伝統に対する理解と愛情を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に寄与する態度を養う。

○ 体力の向上、心身の健康の保持増進及び安全教育の充実

教育活動全体を通じて体力の向上を図るとともに、食習慣を含めた基本的な生活習慣の確立により、自己の心身の健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。また、自ら安全に行動し、他者や社会全体の安全に貢献できる資質や能力を育成する。